ボイスパケットトランシーバー　ハンディタイプ

取扱説明書

Mobile Create

VOICE PACKET TRANSCEIVER
HANDY TYPE

Revision 1.00 – 2012.12

もくじ

安全上のご注意 … 2

各部のはたらき … 6

電池パックの取り付け/取り外し … 8

充電のしかた … 9

電源の入/切 … 10

電池残量について … 11

通話のしかた … 12

べんりな機能 … 16

こんなときは … 22

安全上のご注意

～ 必ずお守りください ～

本機を安全に正しくご使用していただくために、次のことを十分に注意してください。

■ 表示の説明

危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容を示しています。
警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	傷害を負うことや、物的損害を負うおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の説明

	必ず守って頂きたい注意事項です。
	参考にして頂きたい事項です。

警告

- 自動車を運転しながら本機を操作しないでください。運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車してから使用してください。
- 航空機内や病院内での設置、運用はしないでください。電子機器や医療機器に影響を与える可能性があります。
- 引火性ガスの発生する場所では設置、運用はしないでください。発火事故の原因になる可能性があります。
- 心臓ペースメーカー装着者は使用しないでください。ペースメーカーに影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。本機からの電波で機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 前方視界を妨げる場所や運転操作の邪魔になる場所に設置、運用はしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。
- 運転中は車外の音が聞こえるよう、スピーカの音量に注意してください。怪我や事故の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。

注意

- 直射日光の当たる場所に設置、運用はしないでください。プラスチックケースの変形や変色、故障の原因となります。
- 雨や水がかかる場所では設置、運用はしないでください。本機は防塵、防水構造を有しておりません。故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えたり投げつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の装置以外と接続しないでください。故障の原因となります。
- 磁気カードなどに本機を近づけないでください。キャッシュカードなどの内容が消去される場合があります。
- 清掃にシンナーやアルコールなどを使用しないでください。プラスチックケースの変形や変色、故障の原因となります。

電池パック取り扱いの禁止事項

⚠ 危険

- 電池パックを分解したり、改造しないでください。電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- （＋）と（－）を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
- 電池パックを火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、電池パックが内部ショートし、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 電池パックを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックの充電には、専用充電器を使用してください。また、指定以外の充電条件（指定以上の高い温度、指定以上の高い電圧・大きな電流、改造した充電器など）で充電しますと、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
  ＊充電器使用温湿度範囲：0～40℃ ／ 45～85%RH
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。電池パックが破裂、変形され内部でショート状態になり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックに直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- （＋）と（－）とを逆にして使用しないでください。充電時には逆に充電され電池パック内部で異常な化学反応が起きたり、放電時には思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続するときにうまくつながらない場合は無理に接続しないで、プラス・マイナスの向きを確かめてください。逆につなぐと電池パックが逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。高い電圧を加えられることによって、過大な電流が流れ、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- この電池パックを指定機器以外の用途に使いますと、電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックが漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。
- 充電器は安定した家庭用 AC 100V に繋いでください。 車などで変圧器を通して充電しないでください。

警告

- 乾電池などの一次電池や容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。使用中に過度に放電されたり、充電時に過度に充電されたりして、電池パック内部の異常な化学反応によって、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。電池パックを発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱をしたり、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときには機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。そのまま使用すると、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因になる恐れがあります。

注意

- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。漏液、発熱、発煙の原因になるおそれがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。
- 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気(100V 以上)が発生する場所で使用しないでください。保護回路が壊れ電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- 電池パックの充電温度範囲は 0℃～45℃です。この温度範囲以外での充電は電池パックを漏液、発熱、破損させる原因になります。また、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。
- ご使用前に必ず取扱説明書、または注意書きをよくお読みください。また、お読み頂いた後大切に保管し、必要なときにお読みください。
- お買い上げ後、初めてご使用の際に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、使用する際も、乳幼児が充電器や使用機器から取り出さないように注意してください。
- 電池パックが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。

リチウムイオン電池パックのリサイクルについて

リチウムイオン電池パックはリサイクルできます。
希少な金属を再利用するために、不要になったリチウムイオン電池パックは廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。

Li-ion

正しくご使用していただくために

- 本製品は携帯電話通信網を使って通信を行っております。 本製品の保証範囲は携帯電話通信網を含めて保証するものではありません。 本システムの特性を十分に理解し、使用者の責任に於いてその利益を活用するようにしてください。
- 付属品は全てモバイルクリエイト株式会社が販売しているものを使用してください。市販品や自作物をご利用にならないでください。 製品保証の対象外となります。
- 筐体の材質はABS樹脂です。 運搬時は投げたり落としたりしないでください。 機器が壊れます。 またネジを外したり、分解しないでください。 性能劣化や故障の原因となり製品保証の対象外となります。
- 本体及び付属品は防滴や防水構造を施しておりません。 水が掛った場合は製品保証の対象外となります。
- 本製品はRoHS指令には対応しておりません。 鉛等の公害物質を含有しておりますので、廃棄する場合は自治体の指定にもとづき適切な処置を行ってください。
- 本製品は一般通信機器として使用されることを意図して設計されております。 特別な品質 / 信頼性が要求され、その故障や誤動作が生命維持や財産に著しく関わるような医療機器 / 防災 / 防犯セキュリティー機器等としては使用しないでください。
- 直射日光が当たる箇所には設置しないでください。 性能低下や故障の原因となります。
  ＊推奨使用環境温度: 0℃～+40℃
- 汚れたまま長期間放置するとメッキや塗装が剥がれる場合があります。 定期的に乾いた柔らかい布で乾拭き清掃を行ってください。
- 通話する際は、本機から 5cm 程離してご利用ください。 距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。
- パケット通信サービスエリア内であっても、トンネル内や車庫内など電波の弱い場所や、通信回線の状態（ネットワーク回線工事や混線）などの影響で、通話中に音声が途切れる場合があります。
- 本製品のファームウェアは、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。 また改変改作を行うことはできません。
- 本製品に関して記載される著作権、特許、実用新案、商標等の知的財産権の表示を削除または改変することはできません。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計されております。 日本国外での使用は出来ません。

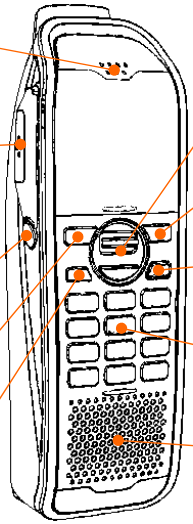
ご使用にあたって

お客様の責任に於いてご使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。
ご使用の際は、使用環境・条件等に十分配慮し誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

各部のはたらき

本体

（正面）



マイクロフォン
通話の際は、ここに向かって話します。

プレスボタン
通話時にプレスボタンを押すと相手局へ音声を送信します。

ショートカットボタン
登録した通話モードやメニューなどを呼び出すことができます。
詳細は[P18:べんりな機能 － ショートカット機能]を参照してください。

左ボタン
通話モードの切替えなどに使用します。

ホームボタン
終話設定で決めた通話モードに戻ります。

選択／決定ボタン
音量調節やメニュー機能の選択、選択項目の決定や発信時に使用します。

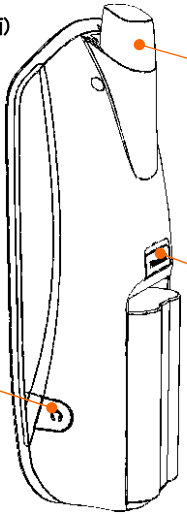
右ボタン
メニュー機能の操作などで使用します。

電源ボタン
電源のオン/オフなどに使用します。

10 キーボタン
個別通話時の番号入力などに使用します。

スピーカ
相手局の音声や効果音などを再生します。

（背面）



モジュールカバー
通信モジュールを保護します。

取り外しボタン
電池パックを取り外す際に使用します。

イヤホンジャック
イヤホンを使用する際は、こちらに接続します。

> **3.5φモノラルプラグ接続専用**
> ※イヤホン出力専用です。
> ※マイク入力はありません。

表示画面

アンテナレベル
パケット通信網のアンテナ受信レベルを4段階で表します。

通話モード
現在の通話モードを表します。

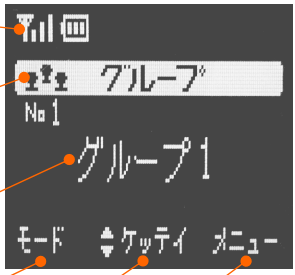
選局
現在の通話モードで、 選局している局番などを表します。

左ボタン機能
左ボタンの機能を表します。

選択ボタン機能
選択／決定ボタンの機能を表します。

右ボタン機能
右ボタンの機能を表します。

（待受け画面）



（通話中画面）

電池残量
電池残量を表します。

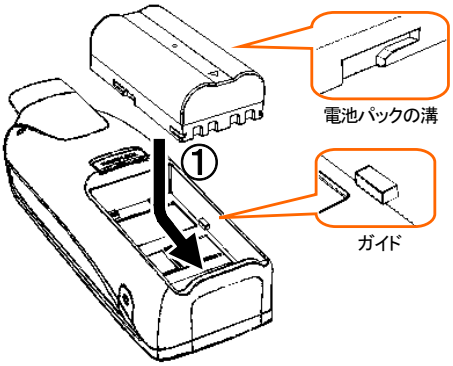
通話状態
通話中の際に表示されます。

音量
現在のスピーカ音量を表します。
通話中は選択ボタンの上下で音量を変更できます。

電池パックの
取り付け/取り外し

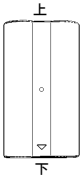
電池パックの取り付け

1 ： 電池パックの側面にある溝と、本機にあるガイドを合わせるように挿しこみ、電池パックの背面を押しながら下側にスライドさせ、「カチッ」と音がするまで差し込みます。



電池パックの向きに注意してください

電池パックの背面に表示されている矢印が下を向くように取り付けてください。

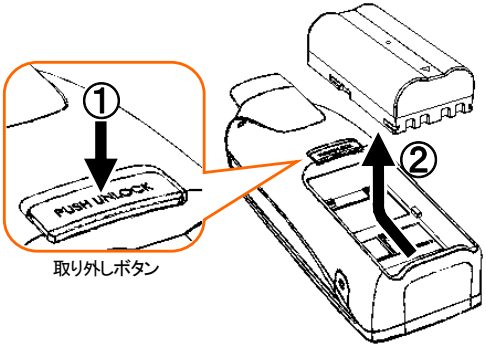


電池パックが正しく取り付けられていないと、故障や思わぬ事故の原因となります。

電池パックの取り外し

1 ： 取り外しボタンを押します。

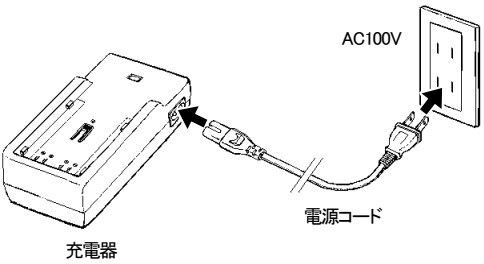
2 ： 取り外しボタンを押したまま、電池パックを上側にスライドさせ、矢印の方向に取り外します。



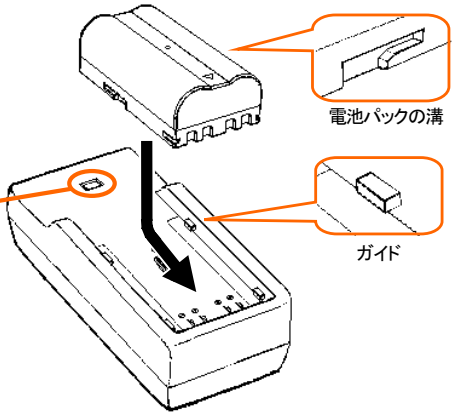
充電のしかた

電池パックの充電手順

1 ： 充電器の側面にあるジャックに、電源コードのコネクタを挿しこみ、家庭用電源 AC100V のコンセントに接続してください。



2 ： 電池パックの側面にある溝と、充電器にあるガイドを合わせるように挿しこみ、電池パックの背面を押しながら下側にスライドさせ、「カチッ」と音がするまで差し込みます。



3 ： 充電器のランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが消灯します。

＊充電は専用充電器を使用し、また、以下の充電条件を守って行ってください。
充電器使用温湿度範囲: 0～40℃ ／ 45～85%RH

＊充電時間は約 240 分です。
＊充電器は通電中に小さな動作音が発生しますが、安全性及び性能上において問題ありません。
＊充電完了後は、電源コードをコンセントから外してください。

電源の入/切

電源を入れる

1 ：

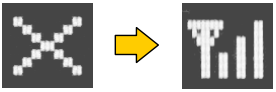
を約 2 秒間長押しすると、電源がオンになります。

2 ： 画面表示が点灯し、起動画面を表示します。
各部のチェックを終えると待受け画面を表示します。

起動画面

待受け画面

起動後、すぐには通話できません。
通話をする際は画面のアンテナレベルを
確認してください。



電源を切る

1 ：

を約 2 秒間長押しします。

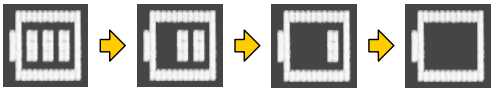
2 ： 画面に「OFF」のメッセージが表示され、終了します。

OFF 画面

電池残量について

電池残量表示の見かた

ご使用中、待受け画面上部に電池残量を表示します。



目盛が少ないほど、電池残量が減っています。

目盛がなくなり点滅を始めたら、電池パックを充電するか、
新しい電池パックに交換してください。

＊フル充電で、約 9 時間使用できます。（使用比率が受信 1:送信 1:待受 8 のとき）
＊充電、放電をくりかえすと電池パックは劣化します。
劣化し使用時間が極端に短くなったときは、新しい電池パックに交換してください。

エコモード

エコモードは、消費電力を抑えるモードです。

を短く 1 回押すことで、エコモードに変更することができます。

通常のモードに戻る際も同様に、

を短く 1 回押します。

＊エコモード中はバックライトが消え、画面が暗くなりますが、着信は受けられます。
＊自動エコモードを ON に設定している場合、一定時間何も操作しないと自動的にエコモードに
切り替わります。
設定方法 ［ メニュー ］→［ 8:機能設定 ］→［ 4:表示・照明設定 ］→［ 3:自動エコモード ］

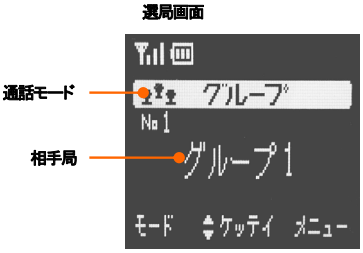
通話のしかた

かけるとき　（ 発呼 ）

マイク画面で選局されている通話モードにて、発呼を行えます。
通話モードの切り替え方は、「P15:通話のしかた － 通話モードの切り替え方」を参照してください。

1 ： 発呼したい通話モード、相手局が間違いないか確認し、

を押します。



プレスボタンで発呼することはできません。

2 ： 呼出音「プップッ・・・」のあと、接続完了すると「ピッ！」と効果音がなります。

3 ： 通話するときは、プレスボタンを押しながらマイクロフォンに向かって発話してください。

アンテナレベルについて

通話できません　　電波状態が悪い　　電波状態が良好

＊アンテナレベルはあくまで目安であり通信品質を保証するものではありません。
電波状態が良好な場合でも、通話中に音声が途切れる場合があります。

うけるとき （ 着呼 ）

1 ： 着信音が「 ピッ 」と鳴り、画面に通話モードが表示されます。

2 ： プレスボタンを押しながら通話できます。

着信画面

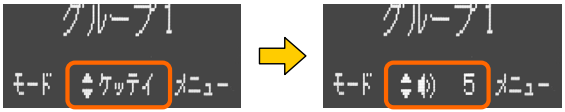
■ **通話モード別の着信音**

個別通話	着信音「 ポピッ 」
強制系の通話	着信音「 ポポーピッ 」
他の同報通話	着信音「 ピッ 」

他の同報通話 ・・・・ グループ通話、一斉通話、指令局通話 など

音量のかえかた

待受け画面で ＊ボタン を押すと、下図のように「ケッテイ」表示から音量表示に切り替わります。



音量が表示されている間、選択ボタン の上下で音量を変更することができます。

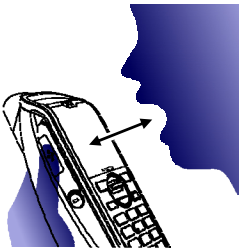
再度 ＊ボタン を押すか、一定時間経つと「ケッテイ」表示に戻ります。

通話中、もしくはメニュー内の音量設定画面でも音量変更が行えます。

良い音で通話するために

通話する際は、本機を 5cm 程離してご利用ください。
距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。

メニューからマイク感度を変更することができます。
［ メニュー ］→［ 8:機能設定 ］→［ 3:音質設定 ］→
［ 2:マイク感度 ］ から、声の大きさにあわせて相手が
聴きやすい音質に変更してください。



通話のしかた

様々な通話モード

■ 標準的な通話モード

個別通話	他の無線局と1対1の通話ができます。
グループ通話	グループ内のすべての無線局と同時に通話ができます。
指令局通話	グループ内のすべての指令局と同時に通話ができます。
一斉通話	すべての無線局と一斉に通話できます。

■ 強制割り込み通話モード

強制個別通話	通話中の無線局を強制的に終話させ、個別通話に参加させます。
強制グループ通話	グループ内で通話中の無線局を強制的に終話させ、グループ通話に参加させます。
強制指令局通話	通話中の指令局を強制的に終話させ、指令局通話に参加させます。
強制一斉通話	通話中の無線局を強制的に終話させ、一斉通話に参加させます。
強制全指令局通話	通話中のすべての指令局を強制的に終話させ、全指令局通話に参加させます。

■ 特別な用途の通話モード

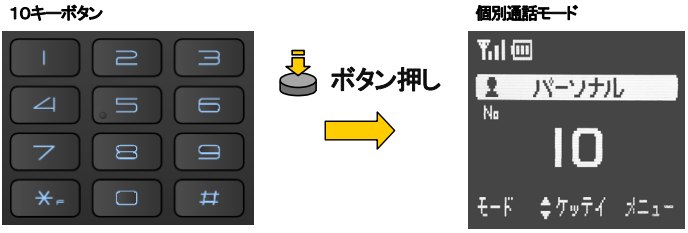
全指令局通話	他グループの指令局も含む、すべての指令局との通話ができます。

＊通話モードの追加や変更は、販売店による設定が必要です。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

通話モードの切り替え方

■ 個別通話の場合

1 ： 10キーボタンで局番を入力すると個別通話モードに切り替わります。



■ 他の通話モードの場合

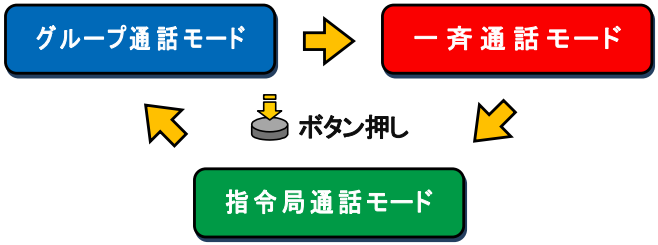
1 ：

で通話モードを切り替えます。

登録している通話モード順に切り替わります。

通話モードの切り替え方

左ボタンを押すたびに通話モードが登録順に切り替わります。



＊使用する通話モードは事前に設定登録が必要です。
＊通話モードの切り替え順やモードの追加、変更をする場合は販売店にお問い合わせください。

べんりな機能

グループ登録

■ 設定方法

1 ：

で［ メニュー ］画面に切り替えます。

2 ：

で［ 5:グループ設定 ］を選択し、

で設定画面に進みます。

3 ：

で［ 1:メイン登録 ］を選択し、

で登録画面に進みます。

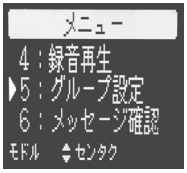
4 ：

で選択し、

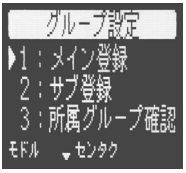
でチェックをつけ、

で登録を行います。

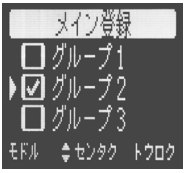
メニュー画面



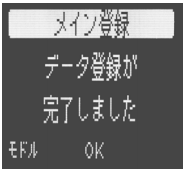
グループ登録画面



メイングループ登録画面



登録完了画面



＊グループ登録にはパケット通信を行うため、電波状況が悪い場合、登録に失敗することがあります。
失敗した場合、再度登録を行ってください。
＊お使いの機器の設定によって、使用できない場合があります。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

終話設定

通話が終わった際の、待受け画面の選局状態を以下の設定で変更できます。

■ 終話設定

着信保持	相手局からかかってきた場合の通話モードを終話後、保持します。 個別通話の場合は局番も保持します。
発信保持	自らが発信した局番、通話モードを終話後、保持します。
終話保持	発信着信に関係なく、最後に通話した局番、通話モードを終話後、保持します。
固定	終話後に、ここで設定した局番、通話モードに切り替わります。 登録してあるすべての個別局、通話モードを選択できます。

固定で設定する通話モードは事前に設定登録が必要です。

■ 設定方法

1 :

で［ メニュー ］画面に切り替えます。

2 :

で［ 2:終話設定 ］を選択し、

で終話設定画面に進みます。

3 :

で設定したい終話設定を選択し、

でチェックをつけると登録完了となります。

メニュー画面

終話設定画面

べんりな機能

ショートカット機能

よく使用する通話モードや、個別局、よく見るメニューの項目など、ショートカット登録する事で
簡単に呼び出せるようになります。

■ 登録方法 （例 ： 個別局 10 をショートカット登録する場合）

1 ： 個別局 10 を選局状態で、ショートカットボタンを3秒、長押しします。

個別通話選局画面

ショートカットボタン

ボタン長押し

2 ： ショートカット登録画面となり、
選択ボタン
で選択し、
決定ボタン
で登録します。

登録画面

登録画面

■ 呼出

1 ： ショートカットボタンを押すと登録順に画面が切り替わります。

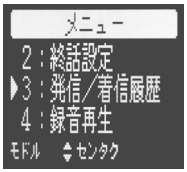
ショートカット画面

＊複数登録している場合は、登録番号の若い順に呼び出されます。
＊お使いの機器の設定によって、使用できない場合があります。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

通話履歴機能

発信、着信の履歴をそれぞれ5件、保存しています。

メニュー画面



■ 履歴確認方法

1 ： で［ メニュー ］画面に切り替えます。

2 ： で［ 3:発信 / 着信履歴 ］を選択し、 で画面を切り替えます。

3 ： で［ 着信履歴 ］と［ 発信履歴 ］を切り替えます。

着信履歴画面

右ボタンで切り替え

発信履歴画面

キーロック機能

キーロックは、キー入力を受け付けないようにし、運搬時などの誤動作を避けるための機能です。

10キーの を 3 秒間長押しすることでキーロックになります。

キーロックを解除する際も同様に、10キーの を 3 秒間長押しします。

キーロック画面

＊キーロック中でも、着信を受けることができます。
＊着信すると、一時的にキーロックが解除されますが、終話後、再びキーロック状態に戻ります。

べんりな機能

メニュー機能

■ メニュー

1:音量設定	スピーカの音量を変更できます。
2:終話設定	通話が終わった際の、待受け画面の選局状態を変更できます。
□着信保持	相手局からかかってきた場合の通話モードを終話後、保持します。 個別通話の場合は局番も保持します。
□発信保持	自らが発信した局番、通話モードを終話後、保持します。
□終話保持	発信着信に関係なく、最後に通話した局番、通話モードを終話後、保持します。
□固定	終話後に、ここで設定した局番、通話モードに切り替わります。 登録してあるすべての個別局、通話モードを選択できます。
3:発信 / 着信履歴	発信と着信それぞれ5件分、過去の通話履歴を確認できます。
4:録音再生	直近5件の通話を録音しています。(相手局の音声のみ)
5:グループ設定	所属する通話グループの設定ができます。
1:メイン登録	所属するメイングループを設定します。
2:サブ登録	所属するサブグループを設定します。
3:所属グループ確認	現在、所属しているメイングループ、サブグループを表示します。
4:グループリスト	全グループをリスト表示します。
6:メッセージ確認	直近9件の受信メッセージを確認できます。
7:コールバック	コールバック設定ができます。
8:機能設定	各種機能設定ができます。
1:一般設定	ホーム画面の設定や留守録機能の設定ができます。
1:設定リセット	すべての設定を初期値にもどします。
2:ショートカット	ショートカット登録したリストを表示、解除ができます。
3:音質設定	イコライザー機能、マイク感度の調整ができます。
1:スピーカ音質	サウンドイコライザー機能を選択できます。
2:マイク感度	マイク感度を変更できます。
3:マイク雑音除去	周囲の騒音(ノイズ音)の集音を軽減できます。
4:マイク低音除去	走行時のロードノイズなどの低周波音の集音を軽減できます。

メニュー機能

■ メニュー

8:機能設定	各種機能設定ができます。
4:表示・照明設定	画面のコントラスト調整、フックライトの点灯時間などの設定ができます。
1:コントラスト	画面のコントラスト調整ができます。
2:キーバックライト	キーバックライトの ON / OFF が設定できます。
3:自動エコモード	自動エコモードの ON / OFF が設定できます。
5:効果音設定	プレス音の有無など設定ができます。
1:起動音	起動音の有無を選択できます。
2:キータッチ音	キータッチ音の有無を選択できます。
3:コール音	呼出音の有無を選択できます。
4:プレス音	プレスボタン音の有無を選択できます。
5:プレス解放音・ザ	プレス解放音の有無を選択できます。
6:切断音	通話終了時の切断音の有無を選択できます。
7:メッセージ受信音	メッセージ受信音を1度だけ鳴らすか連続で鳴らすかを選択できます。
8:通話モード選択音	通話モードアナウンス音の有無を選択できます。
9:効果音音量	効果音の音量バランスを設定します。
6:機器状態確認	ネットワーク状態、温度など機器状態の確認ができます。
1:システム時刻	現在のシステム時刻を表示します。
2:ネットワーク状態	パケット通信のアンテナレベル表示や、通信状態の確認がおこなえます。
3:電源電圧・電流	本体に入力されている電源電圧・電流の状態を表示します。
4:温度	マイク内部の温度を表示します。
5:機器状態	機器の現在の状態を表示します。
6:マイクテスト	マイクのプレスボタンを押すと録音開始、離すと再生します。
7:IPアドレス	本機のIPアドレスを表示します。
8:バージョン情報	ソフトウェアのバージョンやシリアルナンバーを表示します。
7:メンテナンス	販売店にて各種設定を行う際に使用します。 パスワードが必要です。

お使いの機器の設定によっては使用できない項目もあります。 詳しくは販売店にお問い合わせください。

こんなときは

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、以下の事項をご確認ください。
それでも解決しないときは、販売店にご相談ください。

電源が入らない	■電源ボタンを約 2 秒間長押ししましたか。 押下時間が不十分だと起動しません。 ■電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。 ■電池の残量が不十分だと起動できません。 電池を充電するか、新しい電池パックと交換してください。
ボタン操作できない	■キーロックがかかっていると、ボタン操作ができなくなります。 キーロックがかかっていないか確認してください。
通話をしようとするが繋がらない	■通信モジュールが正しく接続されているか確認してください。 ■画面メッセージが表示された場合、内容を確認し、それぞれ以下の対処を行ってください。 「通話中です。 しばらくしてからかけ直してください。」 相手局が通話中の場合、表示されます。 しばらく待ってからかけ直してください。 「電源が入ってないか、電波がとどかないためつながりません。」 相手局が電源オフの状態か、電波の届かない場所にいる可能性があります。 しばらく待ってからかけ直してください。 「未登録の番号です。 番号を確認してください。」 システム上、未登録の番号です。 相手局の番号をもう一度確かめて入力してください。 「電波の状況が悪いため発信できませんでした。」 マイクのアンテナレベルを確認し、電波状況の良い場所でかけなおしてください。 「接続できませんでした。 しばらくしてからかけ直してください。」 ネットワークの異常、もしくは通信モジュールの異常の可能性があります。
自分の声が伝わりにくい	■マイクロフォンに口を近づけすぎると音質が悪くなることがあります。 5cm くらい離して通話してください。 ■マイクロフォンを指などでふさがないように気をつけてください。 ■メニューの機能設定より、マイク感度の変更が可能です。 声の大きさにあわせてマイクの感度を変更してください。 設定方法［ メニュー ］→［ 8:機能設定 ］→［ 3:音質設定 ］→［ 2:マイク感度 ］
通話相手の声が聴こえにくい	■音量設定が小さくなっていませんか。 音量の設定を確認してください。 ■スピーカを手などでふさがないように気をつけてください。 ■メニューの機能設定より、スピーカの音質の変更が可能です。 周りの環境にあわせた聴きやすい音質に変更する事ができます。 設定方法［ メニュー ］→［ 8:機能設定 ］→［ 3:音質設定 ］→［ 1:スピーカ音質 ］
充電ができない	■電源コードが、充電器とコンセントに正しく接続されているか確認してください。 ■電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。

メモ

■ 主な仕様

寸法	W55 × D54 × H180 mm（バッテリー装着時 / 突起物含まず）
重量	350g（バッテリー装着時）
電源電圧	7.4V 2450mAh 付属リチウムイオンバッテリー
消費電流	送信時 / 受信時 350mA（最大 500mA 以下） 待受時 260mA
使用可能時間	約 9 時間 （使用比率が受信 1:送信 1:待受 8 のとき） ※充電時間 約 240 分
通信方式	3G（HSDPA）800 / 2100MHz
送信出力	最大 0.25W
伝送速度（最大）	受信 3.6Mbps（HSDPA）/ 384Kbps（W-CDMA） 送信 384Kbps（W-CDMA）
音声帯域	最大 12Kbps
スピーカ出力	1W（8Ωスピーカ使用）
イヤホン端子	3.5φモノラルプラグ接続専用 ※イヤホン出力専用です。マイク入力はありません。

■本書の一部または全部を無断で転載、複製、改変などを行うことを禁止します
■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更されることがあります

創りたい未来がある。
Mobile Create

モバイルクリエイト株式会社
〒870-0848 大分県大分市賀来北二丁目 20 番 8 号
http://www.mcinc.jp